

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 染色体不安定性形質の細胞間伝播機構の解明

2. 個人研究者名

家村 顕自 （東北大学 加齢医学研究所 助教）

3. 事後評価結果

がん細胞における染色体不安定性(CIN)の伝播機構の理解を目指し様々な解析を行い、培養上清中の抗酸化代謝物がCINを制御していることを見出したことを嚆矢として、転写因子NRF2がこのメカニズムに関与していることを見出した。またがん患者組織においても解析を行い、このメカニズムががん患者の予後と関連することも明らかにした。今後加速フェーズでは、このCIN伝播メカニズムに関わるNRF2及び下流シグナル経路の解明を目的としており、がんの悪性化・拡大に関わる新たな知見が得られることが期待される。